

オートマチック・アンテナ・チューナー FC-20 取扱説明書

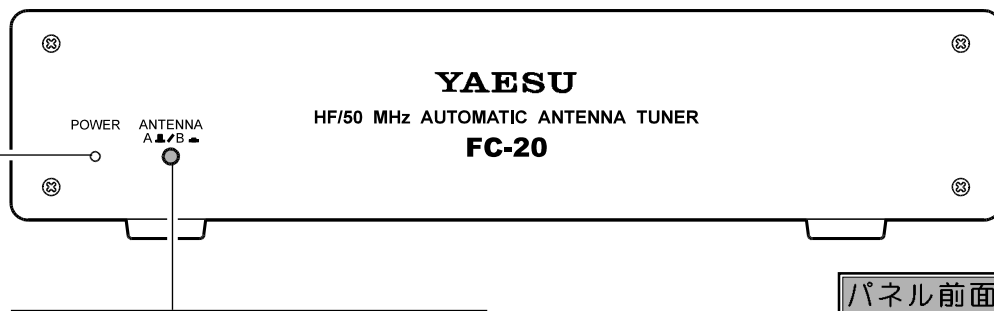
お買い上げ頂きました“FC-20”は、当社の外部アンテナ・チューナー・コントロール機能付きトランシーバーのアンテナ端子とアンテナ間のインピーダンス整合を行うマイクロコンピュータ制御のオートマチック・アンテナ・チューナーで、アンテナの共振周波数から離れた周波数で運用する場合など、SWRが十分に下がらないときに使用します。

なお、本機で整合することのできる範囲は、1.8MHz～30MHzのアマチュアバンドではSWR=3以下（インピーダンスにして16.5Ω～150Ω）、50MHz～54MHzのアマチュアバンドではSWR=2以下（インピーダンスにして25Ω～100Ω）です。また、“ホイップアンテナ”や“ロングワイヤー・アンテナ”などの“ワイヤー型アンテナ”には使用できませんのでご注意ください。

なお、詳しい操作方法や動作説明などは、お手持ちのトランシーバーの取扱説明書に記載しておりますので、そちらをご覧ください。

各部の説明

本機の動作状態を表示するインジケータです。付属のコントロールケーブルでトランシーバーと正しく接続しており、トランシーバーの電源を“ON”にすると緑色に点灯します。



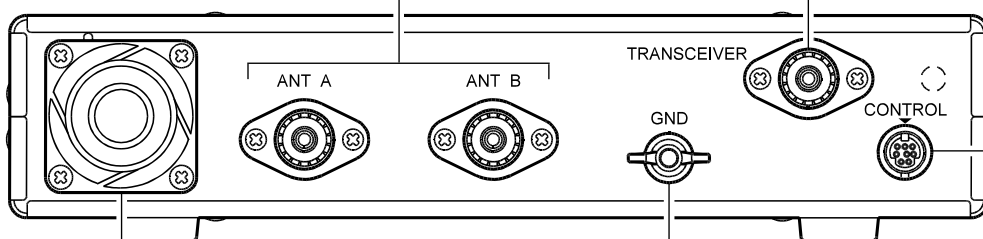
パネル前面

使用するアンテナを切り替えるスイッチです。スイッチが手前に出ているときには背面の“ANT A”端子に接続したアンテナが使用でき、押し込んだときには“ANT B”端子に接続したアンテナが使用できます。

アンテナを接続するためのM型同軸コネクタです。“A”、“B”2つのアンテナを接続することができます。

トランシーバーのアンテナ端子と接続するM型同軸コネクタです。付属の同軸ケーブルを使用して接続します。

パネル後面



トランシーバーとデータのやりとりを行う端子です。付属のコントロールケーブルを使用して、トランシーバーと接続します。

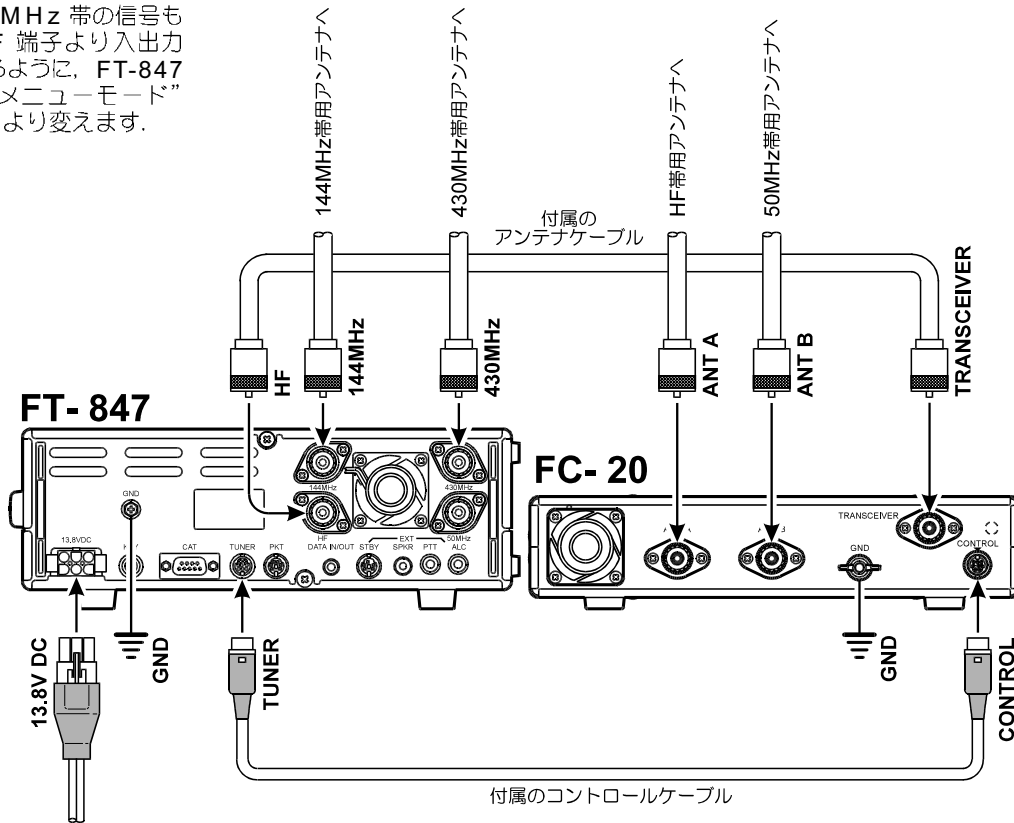
冷却用の空気吹き出し口です。この部分は塞がないようにしてください。

本機をアースする端子です。できるだけ太い線材を使用し、最短距離で大地に接続してください。

接続例



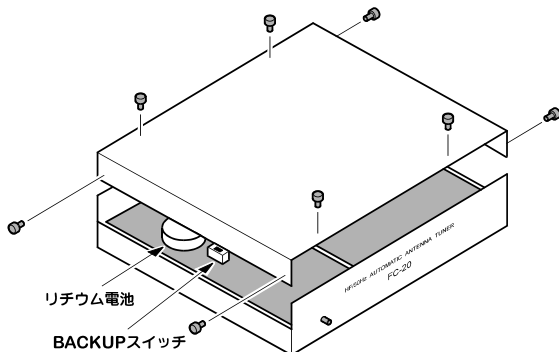
50MHz帯の信号もHF端子より入出力するように、FT-847の設定を“メニューモード”の“28”により変えます。



バックアップ用リチウム電池の交換方法

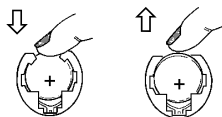
本機に内蔵してあるコンピューターがチューニング状態を記憶しなくなり、バックアップ用リチウム電池(CR2032)の消耗と思われましたら、下記に示す手順で交換してください。

1. トランシーバーの電源を“OFF”にします。
2. 8本のビスを外して、上ケースを取り外します。
3. **BACKUPスイッチ**を“OFF”にします。
4. リチウム電池を図のように交換します。
5. トランシーバーの電源を“ON”にしてから、**BACKUPスイッチ**を“ON”にします。
6. 上ケースを元通りに取り付けます。



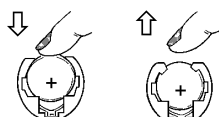
リチウム電池を外すとき

矢印の方向に押し込んでから、指を上方向に持ち上げる。



リチウム電池を差し込む方法

指先で矢印の方向に押し込んでから、指を離す。



定 格

周波数範囲：1.8MHz～30MHz, 50MHz～54MHz

入力インピーダンス：50Ω

最大定格入力電力：100W PEP

整合時 SWR：1:1.5以下

整合動作電力：50±2.5W

整合動作時間：30秒以下

整合範囲インピーダンス：1.8MHz～30MHz：16.5Ω～150Ω

50MHz～54MHz：25Ω～100Ω

メモリーチャンネル数：合計100チャンネル

電源電圧：直流13.5V±10%

動作温度範囲：-10℃～+50℃

ケース寸法(突起物を除く)：260(幅)×55.5(高さ)×193(奥行き)mm

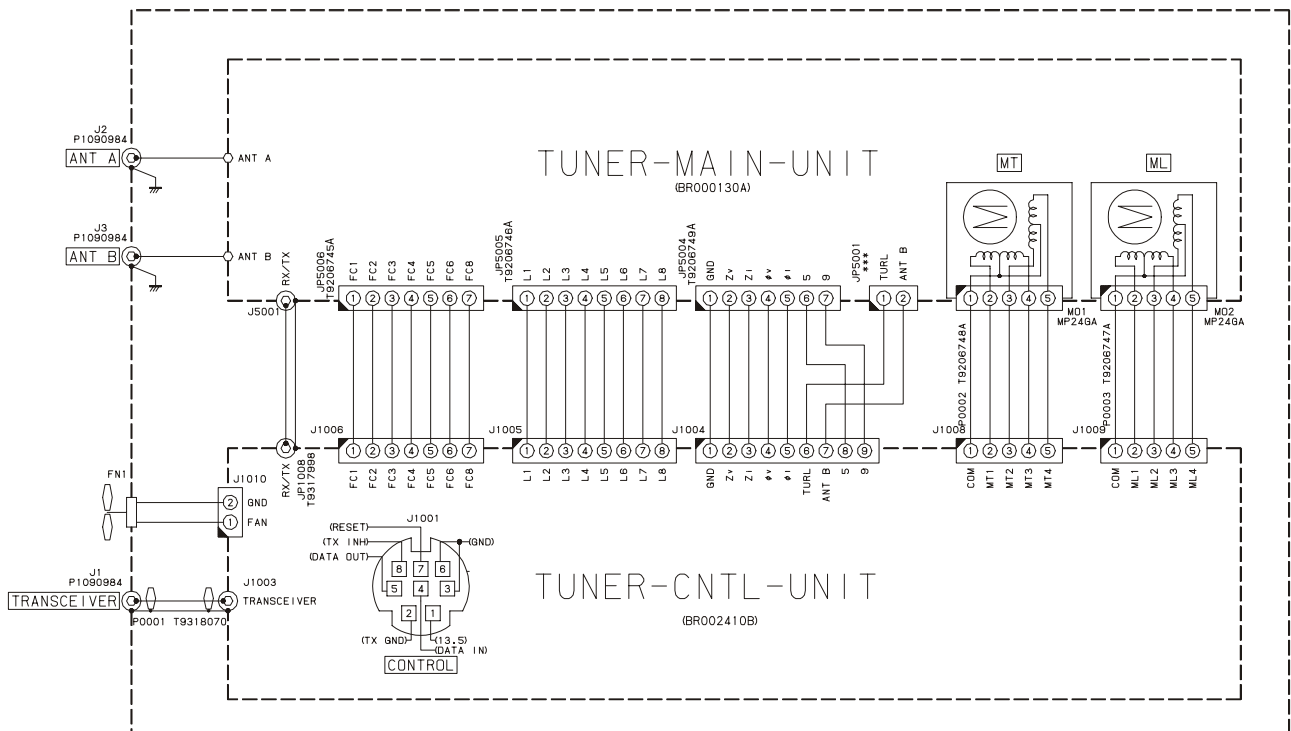
本体重量：約2kg

付属品

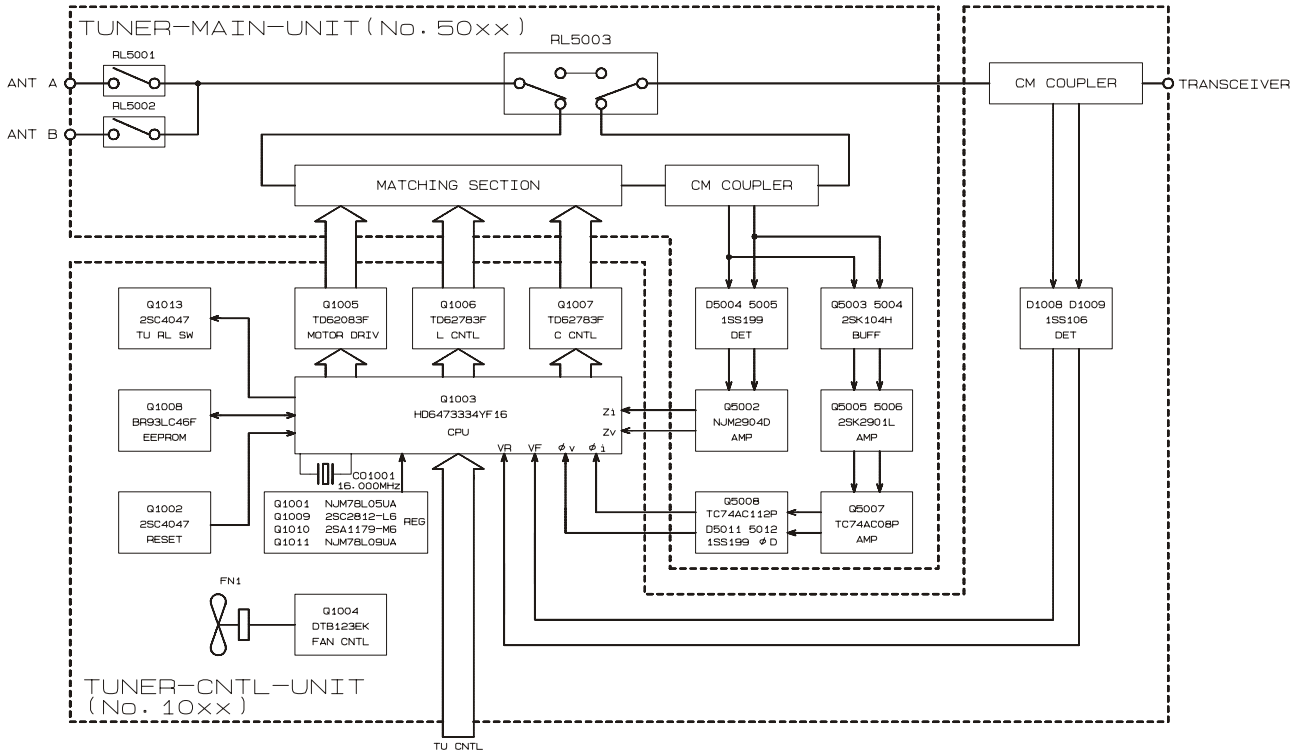
アンテナケーブル	1
コントロールケーブル	1

製造元・株式会社バーテックススタンダード
〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8

CONNECTION DIAGRAM



BLOCK DIAGRAM



CIRCUIT DIAGRAM

